

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス うしおたちばなプラス		
○保護者評価実施期間	令和7年11月15日 ～ 令和7年11月30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10 (回答者数)	10
○従業者評価実施期間	令和7年11月15日 ～ 令和7年11月30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3 (回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童の状況や状態を確認しながら、変化していくニーズに合わせてプログラムを提供している。また、支援内容が固定化されないよう、定期的に職員間で話し合い、新しいプログラムを導入している。	児童の状況や変化をしっかりと把握した上で、児童本人・保護者からの希望や要望を取り入れて、特性に合わせた自立へのサポートを行っている。現在は、季節行事や食育、運動、園芸、音楽などのプログラムを増やしており、児童自身がやりたいことを決めるフリーな時間も設けている。	職員が療育用具を手作りすることで、児童の成長・変化・特性に対応していく。また、そうしたプログラムを円滑に進めていけるように視覚支援を用いた資料を増やしていく。
2	安全な環境下で、児童が楽しく安心して利用できている。	児童個々の特性を考慮しながら、すべてのメニューに遊びの要素を加え、楽しみながら学んでいただけるよう工夫している。また、空き時間を活用してこまめな職員会議を行い、現在の児童の様子やメンバーなども考慮し、様々なリスクを想定して療育を行っている。	今後、音楽や食育などを強化していき、利用しているメンバー全員が楽しんでいけるプログラムを増やしていく。
3	児童の特性に合わせた支援を工夫している。	現在利用している様々な特性を持った児童に対応できるように、視覚支援や個別活動での対応、伝える際の工夫など、職員間での会議や研修等を用いて情報収集を行っている。それらの情報を用いて日々トライアンドエラーを繰り返し、最適な支援方法を見つけていけるように工夫している。	新たな支援のヒントを得られるように様々な関係機関との連携や外部研修などを積極的に受講していき、児童にとって最適な支援方法をより迅速に見つけていけるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者に対してのペアレントトレーニングや保護者会、保護者対象の研修会等への案内や情報提供が十分にできていなかった。	現在、研修等の情報については事業所内に掲示しているが、来所する予定のない保護者への情報発信が不足していた。また、保護者会は現在感染症の流行もあり見送っている状況である。	研修の情報等は、当事業所のお便りやSNS等も活用し、全保護者に提供できるように改善する。保護者会は、感染症の流行が収まり次第、保護者のニーズを聞きながら対応していく予定である。
2	保護者への安全計画や事故防止、非常災害発生時のマニュアルの掲示や避難訓練・研修を行ったことの説明や通知が不足している。	昨年の自己評価アンケートを受けて安全計画やマニュアルの張り出しも行ったが、保護者への周知が不足していた。	今後は玄関先での全マニュアルの掲示や、SNS等でマニュアルが掲示できる旨を周知し、いつでも観覧できるように対応していく。
3	地域との交流など、地域に開けた事業所運営が不足している。	行事等で地域のお店や施設を利用している様子をブログやインスタグラムに掲載し、一般の方にも情報発信するなど開かれた運営を行っているが、直接的な交流とまでは至っていない。また、SNSの更新頻度についても増回してほしいとの要望があった。	今後は、現在までに関わり持つことができた関係機関より情報収集を勧めていき、積極的に地域のイベント等に参加していけるようにしていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日 2026年 2月 1日					回答数	10
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見等を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	1			部屋が広くて良いです。	机や椅子の配置を考えながら、限られたスペースを有効に活用していく。よりよい活動ができるよう工夫していく。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9			1		規定に準じた職員数を配置している。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10				おもちゃ等、しまう棚にその物の写真カードが貼ってあるので、子供にわかりやすい。	今後も写真や絵、張り紙などを活用し、視覚的にわかりやすい環境に整えるなどの工夫を行っていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10					
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10					2026年2月に公表予定。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10					今後も児童・保護者からの希望・要望をこまめに取り込みながら作成していく。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3			7		併設している高齢者介護事業所と行事や訓練を共同で行っており交流がある。外出行事等で、外出先で会おう児童と遊ぶことがある。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3			7		研修会等の情報が入り次第、事業所への掲示は行っているが、今後はSNSを活用して発信を強化していく。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	10				その日の事をくわしく教えて下さり、よく理解できます。	今後もその日あった出来事もこまめにご家族へ報告し、連携を強化していく。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3		1	6		現在は、保護者会等を開催出来ていないが、今後保護者様のご意見を伺い、必要に応じて検討する。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9			1	相談内容にあわせたプログラムを決めて対応してもらえているので良いと思います。対応が早く、助かります。	今後も保護者様との密な連携を心掛け、児童の些細な変化をプログラムに反映していけるように注意していく。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	2			SNSもう少しアップしていただけたらうれしいです。	法人のホームページやブログ、インスタグラムに行っており情報共有を進めるとともに、更新頻度について今後増回できるように調整する。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4			6		保護者様にむけ、SNSでマニュアルについての発信を行い、情報共有できるように検討していく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4			6	すいません、把握できていないです。	2025年3月26日に実施済みである。避難・救出その他必要な訓練は年2回予定し、実施している。情報発信を強化していく。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9			1		安全計画を策定し、定期的に事業所内の点検を行っている。計画について、引き続き、ご家族へ説明を行っていく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7			3		現在事故等が発生した事案がない。事故等が発生した場合、マニュアルに沿って迅速に対応していく。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10					児童が話しやすい雰囲気作りに努めている。また、今後も児童が安全な環境の中で安心して療育が受けられる体制を構築していく。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10				本人の好きな野球やサッカー等、体を動かす活動が多いので、楽しいとよく言っています。	児童の希望や意向を確認し、プログラムに反映させ、楽しんでもらえるよう、工夫していく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10				いつもありがとうございます。	児童・ご家族に信頼いただけるよう、支援に進進するとともに、支援内容をより詳しくお伝えしていく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2026年 2月 1日				
放課後等デイサービス うしおたちばなプラス						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3		利用児童によって、療育用具やテーブル等の配置を変え、スペースを有効に活用できるようにしている。	今後も利用児童の状況を見ながら、決められたスペースの中で、よりよく活動できるように工夫していく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	3		規定に準じた職員数を配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3		事業所内は段差がなく、一目で見渡せる環境である。昨年度、転倒防止のため、床全体にマットを設置した。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3		毎日の掃除・換気・消毒を行っている。利用児童にわかりやすいよう、おもちゃの写真を貼り、視覚的にわかりやすいように整理・整頓している。	感染症予防として、毎日の掃除・消毒・整理整頓を継続していく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3		必要に応じて個室の部屋を使用してもらっている。	現在1室を個室にして対応しているが、今後必要な児童が増えた場合には、パーテーションなどで対応する予定である。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3		朝礼・業務終了後・空き時間に集まり、話し合いの機会が設けられている。その内容を職員間で共有している。	児童の変化するニーズに対応しながら、今後も柔軟なプランニングを心がける。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		ご家族からいただいたご意見を元に、職員間で意識共有し、改善につなげるよう努めている。職員間で共有できるようにしている。	いただいた評価をもとに業務改善を意識しながら取り組んでいきたい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		朝礼・業務終了後・空き時間に集まり、話し合いの機会が設けられている。その内容によって業務を改善している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3	第三者による外部評価は受けていない。保護者による自己評価や希望・要望等があった際に見直し、業務改善につなげている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		毎月事業所内で研修会を開催している。また、法人本部より法人研修を毎月行っており、ズームで参加できるようになっている。	外部研修の案内があれば、職員の受講を勧めていく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3		支援プログラムを作成し、定期的に職員間で見直しを行っている。	2026年2月に公表予定である。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3		児童や保護者から定期的に希望や意向等の聞き取りを行っている。この他、学校や保育所等もから情報をいただき、参考にしている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		管理者が作成前に、朝礼や業務終了後、空き時間等に児童個々の状況を全職員から確認した上で検討している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		管理者が作成とともに全職員に内容や目的等の説明を行っている。また、いつでも閲覧できるようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		アセスメントシート使用して、モニタリングを行っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3		放課後等デイサービスガイドラインを参考に具体的な支援内容の設定を行っている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3		管理者を中心に職員間で話し合い、意見を出し合って、立案している。プログラムの各担当を決め、実施している。	その日の様子や反省点など、職員間で情報共有し、活動プログラムの改善と職員間の連携強化を図っていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3		新しい療育用具を作成したり、運動メニューを増やすことで、固定化しないように注意している	児童からも希望や要望を聞き、選択できる時間も作っている。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3		個々の状況や相性を見ながら、個別活動と集団活動を組み合わせるように心掛けている。	来年度より児童が増える予定があり、さらに個別活動と集団活動の組み合わせが重要になると考えるので、より綿密なプログラムの作成を心がける。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		支援開始前またはその当日の朝に職員間で打ち合わせを行い、情報共有や支援内容・目的・役割分担等について話し合っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		支援終了後にも職員間で打ち合わせ・振り返り、気づいた点等、情報共有や話し合いを行っているが、送迎の都合等でできない日がある。	送迎等の都合でできない場合は、翌朝の朝礼時に行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3		日々の支援の記録をとり、いつでも確認できるようにしている。また、小さな成長や変化も記録するようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		半年に1度、計画を見直している。必要に応じて半年よりも短い期間で、計画書の見直しを行っている。	今後も、児童の変化するニーズに対応するために普段から保護者様との連携を密にとり、プランを変更する必要がある場合には適宜モニタリングを行っていく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3		当事業所では、遊びの中にガイドラインを参考に自立支援や創造活動を取り入れている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3		利用児に合わせた最適な方法で、本人の意思決定を行ってもらえるように支援している。	児童の中には話の内容を理解できずに返事してしまうことがあるので、正確な意思決定を行えるように慎重に確認を行っていく。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		管理者が、児童指導員から普段の様子を聴取した上で参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		必要に応じて関係機関と連絡を取り、情報交換を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3		学校との情報共有・連絡調整を行い、利用上で支障がでないよう注意している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3		就学に向けて取り組んできたこれまでの課題に対する進捗状況などを関係機関に確認をとり、児童の個別支援計画に反映させている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3		移行にあたりケース会議が開かれる場合は参加しており、ケース会議がない場合は関係機関に対して申し送りを行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3		地域に児童発達支援センターがない。他の放課後等デイサービス関係者や相談支援専門員、医療関係者と相談したり、助言・アドバイスをいただいている。	今後もスーパーバイズの機会や研修会があれば積極的に参加していく予定。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		3	併設されている高齢者施設で、高齢者の方と交流を図っている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3		自立支援協議会のこども部会に参加しており、定期的な研修や意見交換、スーパーバイズを受けている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		送迎時やお迎えの際など、毎回、気づいた点やあった出来事を保護者に報告し、意見交換や提案を行っている。	今後も保護者様からのご意見を頂きやすいように普段からこまめに連絡を取るようしていく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3		研修等の情報は入り次第、事業所内で掲示している。	事業所内の掲示を行っているが、来所する予定のない保護者様への案内が不足していたので、今後はSNS等でも発信して行く予定。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		なるべくわかりやすく伝わるように心掛けて説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		保護者の面談だけではなく、児童に対しても面談を行っており、児童自らの意思決定も確認するようにしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3		支援内容の説明を行い、同意を得てから署名・捺印をいただいている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3		半年に1回、面談を行っている。また、保護者から要望があれば、その都度、面接を行っている。	保護者からの要望のみならず、児童の異変を感じたときには、こちらから面談の提案もしっかり行っていく。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		3	今後は、保護者同士の交流を持てる場などを提供できるように機会を設ける予定。	現在は、感染症の流行もあり行えていないが、来年度児童が増える予定もあるので、有意義な会を開けるように協議していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		苦情受付窓口や苦情解決担当者を決めており、迅速に対応できるよう心掛けている。また、相談があった場合には誠実に対応するように心がけている。	現在のところ苦情を受けたケースはないが、今後も事業所での改善点などをしっかり保護者様より聴取していき、適切な事業所運営に努める。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3		開催した行事や活動内容をブログ・インスタグラムに掲載し、法人ホームページから閲覧できるようになっている。	更新頻度について保護者様よりご要望があったので、増回していけるように調整を行う。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		マニュアルに準じて取り扱いを行っている。また、しっかりと説明を行い、個人情報取り扱い同意書にサインをいただいている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		絵カードや指差し・サイン・身振り・筆談など、個々の状況に合った対応を心掛けている。	視覚支援で使える資料の数を確保していき、様々な児童へ対応できるように工夫していく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3		現在、併設されている高齢者施設のイベントには参加している。外出行事等で、地域のお店や施設を利用し、地域交流を図っている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		今後も継続して、家族に周知した上で、訓練を行っていく。	マニュアルについて、保護者様への周知が課題であるので、今後SNSでの発信等も含めて検討する。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3		避難訓練を年2回予定している。同敷地内にある高齢者介護事業所と連携して行っている。	避難訓練では、大きな音や声で対応することが多いので、児童それぞれがしっかり対応できるように工夫していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3		保護者より、アセスメントシートに準じて状況把握に努めている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3		保護者より、アセスメントシートに準じて状況把握に努めている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		安全計画を作成し、3か月に1度、点検を行っている。故障や問題が見つかり次第対処している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3		安全計画を作成し、避難訓練等を行う際は、ご家族へ連絡・説明させていただいている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		ヒヤリハット報告書の書式を簡素化し、できるだけ多く、報告頻度を上げていけるように工夫している。上がってきた報告に対し、職員間で話し合い、対応策を検討・実施している。	現在のところ事故に至ったケースはないので、引き続きヒヤリハットの報告を進めていき、事故予防に努めていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		虐待に関する委員会を設置し、定期的に会を開催している。虐待に関する研修を年2～3回開催している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3		身体拘束に関する委員会を設置し、定期的に会で話し合っている。職員間でも指針やマニュアルの共有、研修への参加を行っている。※身体拘束は原則行わない。	